

R2 年度 2 学期始業式 あいさつ

○ 新学期なので、「学ぶ」ことについての話をします。

大学の入試で、実際に出された問題をいくつかあげます。

世界的に名門大学と言われる、イギリスのケンブリッジ大学の入試問題です。

「火星人に、人間をどう説明しますか？ 今、それを説明してください」

「あなたが、火星人に会ったとして、火星人が「お前たちは、どういう生き物なんだ？」ときいてきたら、どう答えますか？」

同じく、イギリスのオックスフォード大学の入試問題

「カタツムリに、意識はあるでしょうか？説明してください」

早稲田大学の創造理工学部建築学科の入試問題

「あなたが今まで見たこともないほど大喜びしている人々の顔を、表情豊かに描きなさい。また、それらの人々が、大喜びしている場所がどんなところか、わかるような背景を、工夫して描き入れなさい」

これらの問題に共通していることは、

ここまでのいろいろな学習をやった後で、自分の中に生まれてきた創造力とか、思考力を使って解答しろ、ということです。つまり、

「あなたはどんな人間ですか？」

「これから周りの社会と、どう関わろうとしている人ですか？」

と、きかれているということです。

何のためにこの勉強をするんだろう？ なぜ数学をやるんだろう？ 国語をやるんだろう？と、ふと、思いますよね？

○ 男はつらいよの山田洋次監督の映画、「たそがれ清兵衛」の一場面

清兵衛は、江戸時代の末（まつ）、生活が苦しい下級武士です。夜、内職で竹細工をしている時に、10歳の娘に、こうきかれます。

娘「おとはん、針仕事習って上手になれば、いつかは着物やゆかたが縫えるようになるだろ？ だば、学問をしたら、何の役に立つんだろ？」

清兵衛が答えます。

「うーん、そうだのう、学問は、針仕事のように、役に立たねえかものう。」

「でもなあ、学問すれば、自分の頭でものを考えることができるようになる。考える力がつく。この先、世の中がどう変わっても、考える力を持っていれば、なんとかして生きていくことができる。これは、男っこも、女っこも、同じことだ。わかるか？」

○ 人工知能 AI が、チェスで、将棋で、碁で、人間に勝つ時代になりました。  
私たち人間は、こんな時代に、なんで勉強するんでしょう？

世の中がどう変わっても、この答えを出すためには、この式と、この式を組み合わせて考えればいいんだな、とか、この問題は、あいつにきけばうまく説明してくれるだろうな、とか、同じことを言うにも、10通りの表現があるんだな、とか、

毎日コツコツやっていることが、人工知能では出せない、あなただけの考え方を作っています。10年後、20年後、どこかで、答えに困る問題が出てきた時に、今作っている、あなたの考え方が、あなたを助けてくれます。

いやで仕方がない教科がもしあったとしたら、なんでこんな勉強しなきゃいけないだろうと立ち止まったりしたら、今日からちょっと見方を変えてみてください。

私の話は、以上です。